

令和 6 年度 意見交換会（案）

令和 6 年 7 月時点

テ ー マ

緊急時における聞こえない・聞こえにくい方への支援に係る意見交換会（案）

目 的

聞こえない・聞こえにくい方が救急等の緊急時でも地域で安心して暮らせるよう、地域住民、消防・救急、福祉等の関係者が、聴覚障がい当事者が緊急時に手話をはじめとするコミュニケーション面での的確な支援を得られるための方法（環境）や、聴覚障がい当事者との手話を含めたコミュニケーションについての理解を深めることを目的とする。

地域住民や障害サービス事業所、障がい者関係部署等がそれぞれの立場から「自分たちにできることは何か」の自助・共助の認識を共有するための意見交換会を実施する。

実施方法

- 1 日 時 令和 7 年 2 ～ 3 月予定 3 時間程度
- 2 会 場 未定（旭川市障害者福祉センターおびつた 会議室 1 又は体育館を想定）
- 3 対 象 市民対象 5 0 名程度
関係者はろう者、手話通訳者、民生児童委員、地域包括支援センター、障害サービス事業所、行政（障がい者関係部署、消防・救急）、旭川市社会福祉協議会ボランティアセンター
- 4 実施内容（案）
 - （1）講演「緊急時におけるろう者の支援」 < 2 0 分 >
講演者：ろう者
内 容：緊急時の体験や、そこで感じた必要な支援について伝える

(2) 日常生活での困りごとに関するワークショップ <2時間30分>

- ・市民, ろう者, 手話通訳者, 関係者等で1班6～7名×8組
- ・コーディネーター: 旭川市手話施策推進会議 会長を想定

①お題を出して身振り手振り, 又は絵で相手に伝える。

例: 風邪をひいたので病院に行きたい

携帯電話を充電できる場所はどこか?

②ろう者にとっての困りごととは?

日常生活から緊急時まで, いくつか場面を設定し, ろう者の困りごと, 自分にできること(それぞれの立場で事前に備えておくこと, その場でできること)について話し合い, 発表する。

例: 日常生活: 銀行や病院の手続き, 急病で病院に行きたい

緊急時: 災害が発生したとき(避難する, 避難所での生活)

(昨年度と被らない内容で, ろう者にお題を提供してもらう)

(3) 参加者からの感想・質疑応答

<10分>

5 予約の有無

予約制とする(当日参加は定員に満たない場合のみ可)